

事務連絡  
令和5年7月14日

一般社団法人日本産業・医療ガス協会 御中

厚生労働省医政局地域医療計画課  
医療関連サービス室

7月15日からの大雨に対する警戒と安全確認の対応について（依頼）

昨日、防災担当副大臣主催による関係省庁災害警戒会議が開催され、関係団体に対する警戒の注意喚起及び被害が生じた場合の円滑な連絡体制の確立について指示を受けたところです。

貴協会におかれましても、在宅酸素事業者等の会員に対して、十分な警戒と停電等に備えた万全の体制を期されるよう周知方お願いします。

また被害状況によっては、在宅酸素療法患者の安全確認等の対応状況について、貴協会及び貴会員等に照会させていただく場合がありますので、その際はご協力の程重ねてお願いいたします。

詳細情報につきましては、別添をご参照ください。

**【照会先】**

厚生労働省医政局地域医療計画課  
医療関連サービス室

代表 03-5253-1111（内線 2538、2539）

直通 03-6812-7836

# 梅雨前線による大雨について

(土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒)

## <ポイント>

梅雨前線の影響で、13日(木)は西日本から東日本※にかけての日本海側を中心に、14日(金)は東日本では、局地的に大雨となる所がある。また、15日(土)から16日(日)頃にかけて、東北地方を中心に大雨となるおそれがある。

## <概況>

梅雨前線が西日本から東日本付近に停滞し、西日本から東日本にかけての日本海側を中心に大雨となっている所がある。12日(水)夜遅くには、石川県と富山県で線状降水帯が発生した。前線は、14日はやや活動が弱まるが、大気の不安定な状態は続く。15日から16日頃にかけては、東北地方付近に停滞している前線に向かって暖かく湿った空気の流入が強まり、前線上に低気圧が発生するとともに、再び前線の活動が活発となる。

## <大雨>

13日は西日本から東日本にかけての日本海側を中心に局地的に非常に激しい雨が降り、14日は東日本で局地的に激しい雨が降り、雷を伴って大雨となる所がある。また、15日から16日頃にかけて、東日本や北日本では、東北地方を中心に大雨となるおそれがある。

## <警戒事項>

土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。竜巻などの激しい突風や落雷、降ひょうに注意。

※ 東日本: 関東甲信地方・北陸地方・東海地方

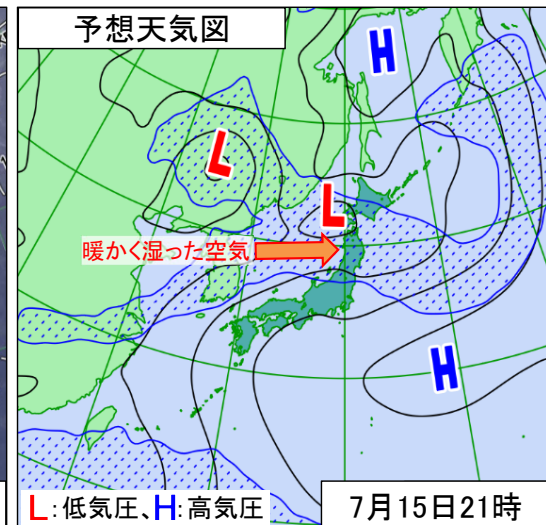
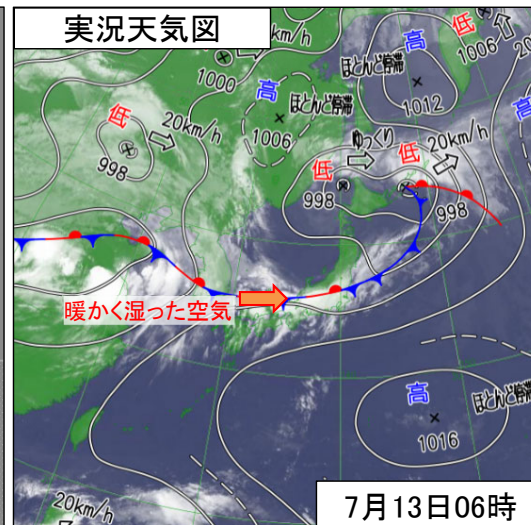
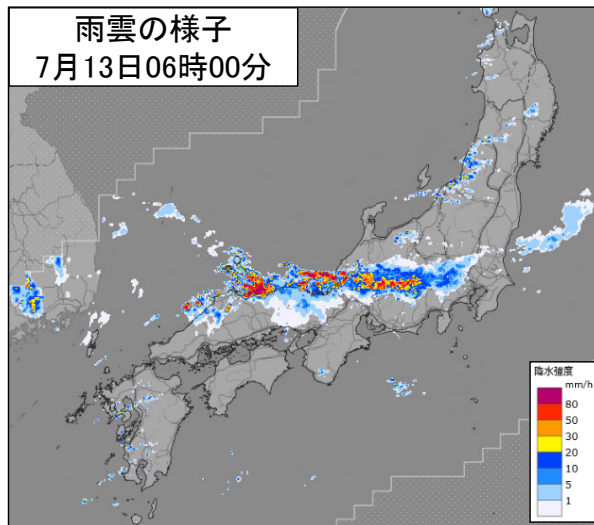
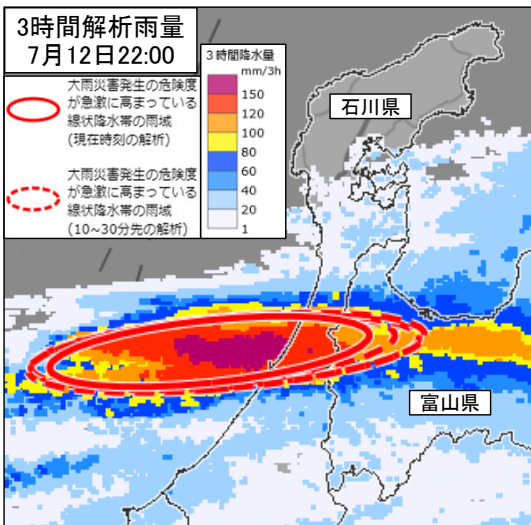
## 【警報級となる可能性のある期間】

日	時	13日		14日	15日	16日	17日
		12~18	18~6	6~24	日	日	日
北海道地方	大雨						
東北地方	大雨						
関東甲信地方	大雨						
北陸地方	大雨						
東海地方	大雨						
近畿地方	大雨						
中国地方	大雨						
九州北部地方	大雨						

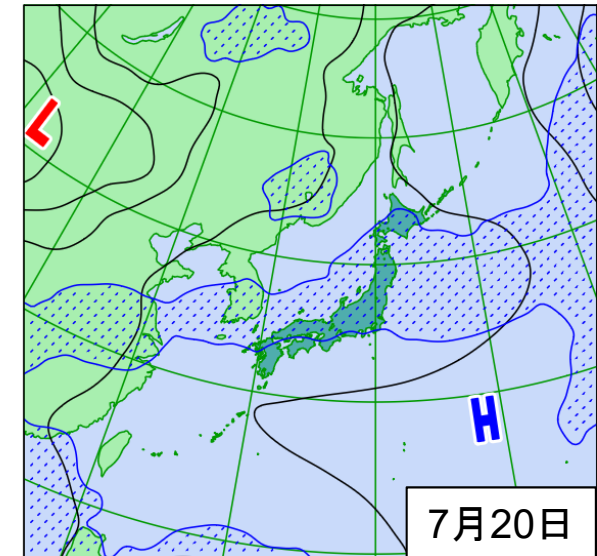
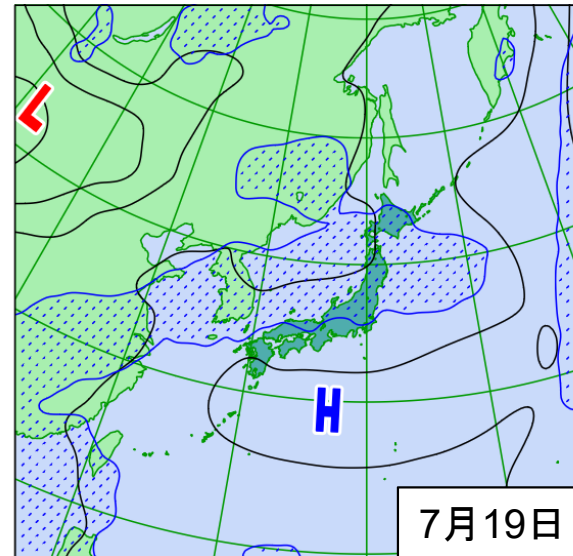
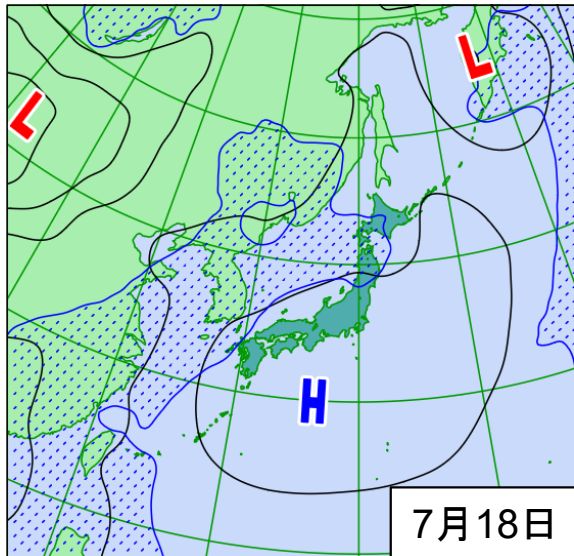
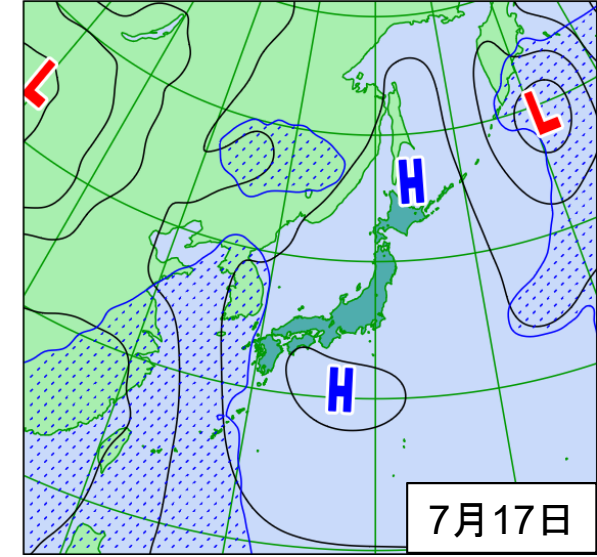
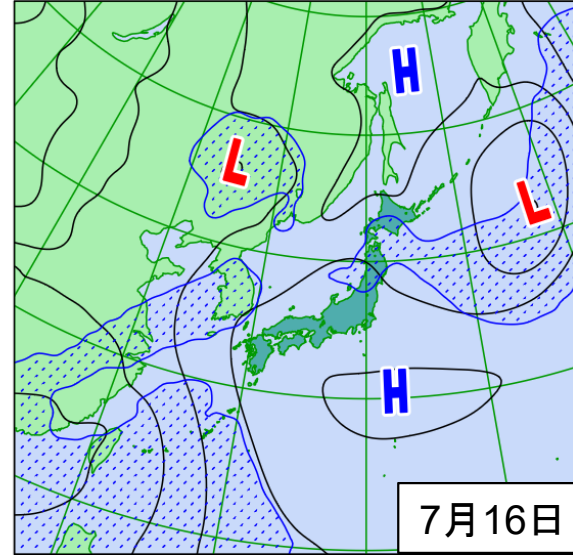
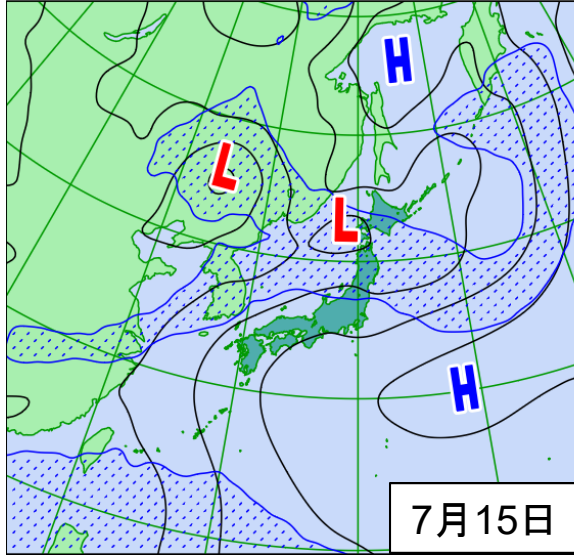
(黄色: 可能性がある、赤色: 可能性が高い)

## 【大雨の見通し】(単位: ミリメートル、多い所)


地域	14日12時までの24時間雨量	15日12時までの24時間雨量	16日12時までの24時間雨量
北海道地方	80	50~100	50~100
東北地方	60	100~150	100~200
関東甲信地方	100	50~100	
北陸地方	100	50~100	50~100
東海地方	100	50~100	
近畿地方	70		
中国地方	120		
九州北部地方	80		



# 今後1週間の見通し



L: 低気圧、H: 高気圧

 : 降水が予想される範囲

<ポイント> 16日から18日は、西日本から東日本は太平洋高気圧に覆われる。19日から20日は日本海から北日本に前線がのびる見込み。